



## イムス・インディペンデンシアロータリークラブの皆様と素晴らしい交流ができました

校長 梶谷 雅弘



全校歓迎集会より

昨日、フィリピンのカビテ州から、現地のシューズバンクプロジェクトでお世話になっているイムス・インディペンデンシアロータリークラブ会長の Rod Steven O Vasquez さんを始め 29 名の皆様と練馬中央ロータリークラブの皆様が、本校にいらっしゃいました。

体育館での全校歓迎会で、挨拶をされたヴァスケス会長の英語のスピーチを真剣に集中して聴いている児童の姿に心を打たれました。ドレミの歌と校歌を披露しましたが、体育館いっぱいに児童の歌声が響き渡りました。お客様も手拍子でリズムを取りながら聴いてくださいました。

私は、真心のこもった児童の歌に感動し、思わず涙ぐんでしまい、次の校歌を歌う時に言葉に詰まってしまいました。それほど素敵な歌声でした。

3校時は、3グループに分かれていただき、各学級の授業参観をしてもらいました。各学級でお客様と楽しい交流が随所で見られました。理科の人体模型を使った説明を英語でしていただいた学級もありました。

4時間目は、洋ランチルームで渡部美菜子外国語活動指導員と6年2組担任 一柳祐太教諭の TT による外国語活動の授業に、お客様全員に参加をしていただきました。

自己紹介に始まり、様々なクイズに挑戦しながら授業が進みました。昨年のマニラの最低気温や最高気温を各グループで相談し発表しあいましたが、そのやり取りが実に楽しくあったという間に授業が終わってしまいました。

授業の最後に、一人一人の児童が心を込めて毛筆で書き上げた「友情」の書と折り鶴をプレゼントしました。

児童も、「本当に楽しかった。」と、授業後一人一人感想を聞かせてくれました。

特に、5・6年生は、これまでに、シューズバンクプロジェクトに取り組んできており、より親しみを感じたものと思います。

2年生以上の各学級で会食をしましたが、もっと質問をしたくて控室まで、お邪魔する児童が何人もいました。

一人一人の児童にとっても、思い出に残る一日となりました。この体験は、これからの人生に必ず生きてくるものと確信しています。お客様方も、感動的なひと時を過ごすことができましたと感謝していました。

シューズバンクプロジェクトに取り組んできたからこそ、今回の素晴らしい交流が実現しました。

これまでお世話になった両国のロータリークラブの意様にお礼を申し上げるとともに、これからも、シューズバンクプロジェクトに取り組んでいきたいと児童と共に決意を新たにいたしました。

今回の訪問に際し、保護者や地域の皆様総勢34名（南が丘中学校の平田智子先生・若林準也先生も含め）もの皆様に通訳・接待・記録のお力添えをいただきました。

お陰様で、感動的な交流をすることができました。心より御礼を申し上げます。本当にありがとうございました。

なお、今回、jcom より取材がありました。5月26日（月）午前11時からケーブルテレビの番組「いまどこ！？イレブン」で、紹介されます。また、You Tube でも見ることができるそうです。本日の練馬新聞でも紹介される予定です。



外国語活動の授業風景



会食風景

